

(浪速支部)

自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成 —国語科説明文教材の授業づくりを通して—

大阪市立難波元町小学校

1. 研究主題設定の理由

新型コロナウイルス感染症の流行は、学校教育に大きな影響を与えた。子どもたちは長期的な休校による心の負担、学校生活への不安やストレスを抱えることとなった。また、マスク着用で表情や口の動きが見えにくくなり、非言語コミュニケーションが制限されてきた。

その影響により、本校では、以下のような課題が見られた。

・児童同士の関わりの希薄化 ・不登校児童・行き渋り児童の増加

また、国語科教育においては、以下のような課題が見られた。

・学力経年調査「書くこと」の領域の平均正答率が大阪市平均以下
・自分の考えを筋道立てて文章にすることが苦手な児童が多い

このような課題を踏まえ、令和5年度から、研究教科を国語科に設定した。説明的文章の指導法の研究を通して、書く力を高める授業づくりの在り方を明らかにし、自分の考えをもち、ともに学び合うことができる児童の育成に力を入れてきた。その結果、学力経年調査における書く領域の平均正答率を上げることができた。しかし、伝え合い活動や振り返り活動に課題が残った。

そこで、本年度は、昨年度の研究を継続し、伝え合い活動や振り返り活動について更に研究を深めていくことにした。そのため、研究主題を「自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成～国語科説明文教材の授業づくりを通して～」と設定した。

2. 研究の趣旨

なんもと研究改革—全教職員で一致団結して授業力向上に取り組む—

- ・指導案検討会を全教員で行う。
- ・カラ授業を実施する。
- ・全学年で授業研究を行い、講師先生の指導を受ける。
- ・研究の日は、給食後下校にし、他校の研究発表を参観する。
- ・国語科の授業以外の場面（学校行事など）でも「伝え合い活動」「振り返り活動」に取り組む。
- ・メンターを中心として若手教員の資質向上のための研修を行う。

3. 研究の概要

研究主題にせまるため、研究の視点を以下のように設定した。

視点① 筆者の表現の工夫に着目した学習指導

「表現の工夫」とは、筆者が読者に伝えたい内容がうまく伝わるように書き方を工夫している点のことである。各学年の教材において、どのような「表現の工夫」に着目した学習指導ができるのか、また、伝え合い活動が活発になる課題づくりにはどのようなものがあるのかを探っていく。

視点② 伝え合い活動の充実

学習の中で、ペアトークやグループトークを設定し、一方的に考えを伝えるだけの交流から、考えを深める交流にするには、どのような手立てができるかを考える。

- ・伝え合いカードの作成・検討

視点③ 振り返り活動

振り返りが感想ではなく、自分の学びを自覚し、次の学習につなげられるような活動にするには、どのような手立てができるかを考える。

・振り返りカードの作成・検討

4. 研究の成果と今後の課題

(1) 研究の成果

【視点1】「表現の工夫」に着目した学習指導

- 「表現の工夫」に着目した学習を繰り返す行うことで、児童が自力で「表現の工夫」を見つけられるようになった。
- 学んだ「表現の工夫」を生かして文章を書く児童が増え、読者の興味を引く、生き生きとした文章を書くことができるようになってきた。

【視点2】伝え合い活動の充実

- 伝え合いカードを作成したことで、
 - ・意見と理由を合わせて考えることができるようになった。
 - ・効果的に自分の意見を伝える力、相手の意見を聞き入れる力が身に付いた。
 - ・自分と異なる意見を聞くことに楽しみを感じられるようになってきた。
 - ・互いの意見の相違点を見つけ、よりよい意見を生み出す姿が見られた。
 - ・学校で系統立てて指導することができた。
- 伝え合い活動を継続して行うことで、自然に相槌を打ちながら意見交流する姿が見られるようになってきた。

【視点3】振り返り活動

- 振り返りカードを作成したことで、
 - ・様々な振り返りの型を使って、自分の考えを書くことができるようになった。
 - ・学校で系統立てて指導することができた。
- 振り返り活動を継続して行うことで、
 - ・自己の成長を実感することができ、次の学習へのモチベーションを高めることができた。
 - ・主体的に学習に取り組む姿が見られるようになった。
 - ・振り返りを素早く書けるようになってきた。

(2) 今後の課題

【視点1】「表現の工夫」に着目した学習指導

- 交流することによって考えが広がったり、深まったりする質の高い課題づくりを考えていく。
- 児童一人ひとりが考えをもち、学習に参加することのできる指導や支援の在り方を考えていく。

【視点2】伝え合い活動の充実

- 考えを広げたり、深めたりできる伝え合い活動を追究し、継続していく必要がある。
- グループの考えをまとめる際の集約の仕方を考えていく。

【視点3】振り返り活動

- 振り返りを評価に入れるための評価規準を設定していく必要がある。